

2021

夏

# NEWSLETTER

宮崎市国際交流協会



みやざき中央農産物  
ファン拡大事業

宮崎市



JA宮崎中央



国富町

産  
業

国富町



■ 編集・発行

宮崎市国際交流協会

〒880-8505

宮崎市橘通西1丁目1番1号

TEL 0985-21-1719

FAX 0985-21-1733

Facebook

<https://www.facebook.com/miyazaki.mcia>

宮崎市国際交流協会の  
Facebookはこちら→



JA宮崎中央さんより、野菜と果物を提供していただき7月19日、宮崎市青少年プラザにて、ベトナム料理教室を開催しました。



# 「やさしい日本語」と 医療

今日、在住外国人の方に情報を伝える方法として「やさしい日本語」が様々なところで使われています。

「やさしい日本語」は、情報を受け取る側がよく聞くであろう単語を使うように配慮し、簡潔な文で現します。

今回の特集は、その「やさしい日本語」を医療現場でも広げようと活動している武田先生にインタビューした内容です。

## 武田裕子 順天堂大学・教授

宮崎市宮崎西高出身。筑波大学を卒業後、1990年よりアメリカに臨床留学し、1995年に米国内科医専門医資格取得。帰国後は大学教員として、プライマリ・ケアと地域医療教育に従事。学生と共に地域の支援活動に参加した際に「やさしい日本語」に出会い、以後、「医療×「やさしい日本語」研究会」(<https://easy-japanese.info>)を立ち上げ、医療現場でのコミュニケーション・ツールとしての「やさしい日本語」の普及に努める。

## やさしい日本語に出会ったきっかけを教えてください。

4年前に外国にルーツのある子どもたちを支援するNPO活動に参加した際、そこに通う子どもたちの保護者の中には、病院を受診できない人たちがいると聞きました。医療保険がない、または保険があっても医師の説明や治療の内容がよく分からず、不安なために病院に行きづらいとのことでした。そのため、健康相談をしてほしいと頼まれたのですが、英語圏以外の方がほとんどでした。私は米国に臨床留学していたため英語での診療には困らないのですが、英語話者以外の方とどうやって会話をしようかと考えていた時に、「やさしい日本語」を教えてくださいました。レクチャーを受けて相談会に臨み、普通に話している日本語が分からなくても言い換えたら伝わるのだということを実感しました。私は、1990年代から医学部でコミュニケーション教育に携わり、コミュニケーション分野は私の専門の一つだと思っていたのですが、「やさしい日本語」はまったく知りませんでした。周りの医療者に聞いても誰も知らなかったため、広めなくてはと思い活動を始めました。

## 外国人にとって理想的な医療環境とは？

「外国人にとって」と言わなくても良いような環境だと思います。病院に行くのは、日本人でも緊張しますよね。玄関に入った時からその病院を出るまで、初めてのことの連続かもしれません。そんな時に、分かりやすく、不安にならないように対応してもらえたら、どんなに嬉しいでしょうか。的確な診断と治療はもちろん大切ですが、それだけではない配慮が病院には求められています。例えば、伝わり

“普通に話している日本語が分からなくても言い換えたら伝わるんだというのを実感しました”

やすいコミュニケーションを医療者が当然のように心がけ、その結果、日本人にも外国人にも一人一人に必要な対応がなされ、当たり前で安心して医療が受けられるというのが理想です。

## 先生が外国人だったときに感じた苦労について話してください。

医学部を卒業し大学院を修了した後、ボストンにある現ベス・イスラエル・ディーコネス・メディカル・センター(Beth Israel Deaconess Medical Center (BIDMC))というハーバード大学の教育病院に約5年間臨床留学しました。留学前のTOEFLは600点を超えており、ある程度は大丈夫と思って渡米しました。しかし行ってみると、臨床現場で話されていることの3割しか分からず、自分が言いたいことも十分の一程しか伝えられませんでした。最初の一年間は学生と同じ立場で教育を受け、米国の医学生と同等と評価されたら研修医として採用するという条件でした。その時は、自分が役に立っていない感じがして、すぐくつらかったです。よく「居場所がある」といいますよね。物理的な場所や、ポジションが与えられていても、それだけでは居づらくなってしまいます。役割を果たせている、必要とされていると思えることが大事です。日本にいる時は医師として既に診療もしていて、頼られる立場でした。たとえ困ったことがあっても、解決法を見つけたり誰かに頼むということが自分の力でできていました。でもそれが全くできなくなりお世話になるだけで、本当に自分がここにいて良いのかという思いになってしまいました。

言われていることは分かるのに、言いたいことが言えないのは相当なストレスです。すぐにすらすらと返せないために、この人は能力がないだめな人な



のだと決めつけられて、悔しい思いをしたこともあります。しかし、つらさが分かるという体験や、言葉の問題を経験したことは、自分を大きく成長させました。

## 医療通訳とやさしい日本語の棲み分けは？

「やさしい日本語」とは、相手に合わせて分かりやすく伝える日本語のことを指します。つまり、単なるスキルではなく、相手に伝えたい、理解したいと考えて言葉や方法を根気よく探す心持ち（マインド）だと思っています。そういう意味では、医療通訳との棲み分けという言葉もあまり当たらないかもしれません。医療通訳者の方も、「この方の力になりたい」と思って通訳されるわけです。ただ、外国人患者の日本語能力や、伝える内容の複雑さなどによって、どちらが有効かは変わってきます。例えば、簡単な説明で十分な病気の時には「やさしい日本語」で対応できても、詳しい病歴の確認や深刻な病状の説明、治療法を選択してもらう際には、医療通訳者による助けが必要です。一方、外来での案内や、入院中の「血圧測りますよ」「朝ごはん食べられましたか」といった声かけは「やさしい日本語」で十分です。棲み分けるのではなく、両方大事ですね。

外国人の困りごとに関するアンケート調査では、必ず医療が上位に挙げられます。外国人診療は英語という思い込みがあるため、「外国人だから対応できない」と考えている医療者は少なくないです。「ことばの壁」が「こころの壁」をつくっている面もありますので、「やさしい日本語」を知っていることで「こころの壁」が低くなってほしいですね。

### 「やさしい日本語」とは・・・

「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。阪神淡路大震災をきっかけに広く普及しました。日本語を母語としない方、高齢者、障がいのある方など、様々な方に用いられます。

(引用：医療×「やさしい日本語」研究会 HP)

## 宮崎市国際交流協会にできることは何でしょうか。

“ 地域の中で 一人一人が力を発揮できるように  
そのためには 日頃の交流が大事だと思いますね ”

「この方が困っている。何か力になりたいな」という思いが大事ですね。言葉が分からない時に、少しでも状況が分かる方がそばにいてくれたら安心します。協会さんの方で医療通訳ボランティアが難しかったら、同行ボランティアから始めるのはどうですか。医療通訳士の資格がないとしても、「やさしい日本語」に置き換えてあげるだけで、外国人患者さんは本当に助かると思います。できることはいっぱいあると思うし、困っている方もたくさんいらっしゃると思います。

「マイノリティ」の人たちは「弱者」として捉えられがちですが、実際はその人達が弱いわけではなくて、社会の構造がその方々の力を発揮できないようにしているわけです。持っている力を発揮できるようにサポートすることが大切なと思います。そのためには、日頃の交流が大事ですね。出身国の文化や料理紹介のイベントはありますが、その先は中々ないですね。1人1人、人としての能力がおありだと思うので、それを地域の中で発揮していただけるとお互いに助かると思います。多文化共生は、互いに、ですよ。私達が努力して外国人を受け入れて、何かしてあげるのが多文化共生ではないと思います。普段から交流があると、医療関係者も「え、外国人？」と思わないし、外国から来られた方もそれほど緊張せずに受診できるのではないのでしょうか。

外国人が受診しやすい医療環境に関するイベント・講話の開催や、どんなニーズがあるのか、医療機関と外国人の両方から聴き取ることも大事だと思います。また、協会のスタッフさんが外国人が困った時の相談窓口になって、そこから専門職に繋いであげるとかどうでしょうか。とにかく、孤立しないようにする働きかけが大切ですね。

(2021年6月4日談。zoomにて)



留学先の英国ロンドンにて (2013年)



## 令和3年度宮崎市国際交流協会理事会・総会を開催しました！

6月8日（水）、宮崎市民プラザ4階にて「宮崎市国際交流協会 令和3年度理事会・総会」を開催しました。両会にて、令和2年度の事業及び決算の報告がなされ、その後令和3年度事業計画及び予算案が審議され、その後全ての案が承認されました。出席者いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

### 4月・5月・6月に開催した講座&イベント

4月から6月の間に開催した講座及びイベントの報告です。各講座・イベント名の横にあるQRコードをスマホで読み取って、動画をご覧くださいませ。コロナ禍、たくさんの皆さまにご参加いただき、本当にありがとうございました。

中国気功講座  ベトナム料理教室  こそだて多言語ワールドカフェ ①  ② 

## 今後のお知らせ

※新型コロナウイルス感染拡大等の影響で予告なく変更・中止になる場合があります。予めご了承ください。

日程	講座名・会場	備考
①毎週金曜日 18:30～ ②基本第1・第3日曜日 9:00～ ③基本第2・第4日曜日 9:30～	①みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ②みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ③佐土原みんなで日本語会 佐土原総合文化センター	参加者・ボランティア 随時募集中
8月初旬	中国料理オンライン動画配信	Facebookにて配信予定
8月13日(金)	こそだて多言語ワールドカフェ#2 子育て支援センターへGO	※この2つの講座は在住外国人の方が対象です。 Facebookをご覧ください。
8月20日(金)	自転車の乗り方講座&ゆかた着付け体験	
9月～12月 隔週水曜日	中国語チャット 全6回	9月に案内予定
10月 火曜日	韓国語チャット 全4回	9月に案内予定

## 編集後記

東京オリンピックが7月23日に開幕されました。「オリンピックの理念」には、「スポーツを通じた国際交流、世界平和への貢献」「スポーツによるフェアプレー精神、連帯意識の醸成」などが挙げられます。普段はスポーツ観戦など全くといっていいほどしない私でさえ、我が家のテレビ画面から、力を出し切った選手の表情を観て、フェアプレーや友情の尊さがあらためて感じることができました。将来を担う子どもたちが、参加する約200の国と地域の数から「世界の広さ」を認識することも貴重な経験になることでしょう。日本は若手選手の台頭や地元の利もあって、ここ数日のテレビ中継は「記録的な金メダルラッシュ！」の連呼で大騒ぎです。感染対策は徹底しつつ、「東京パラリンピック閉会式」の9月5日まで、スポーツの持つポジティブな発信力により、選手の「笑顔」を届け、日本をはじめ世界中の人々が「笑顔」と「希望」に溢れてた未来につき進んでいくことを願っています。

新里

宮崎市国際交流協会では、時々、「病院に行きたいけれど、どこに行けば良いのか分からない」という相談を在住外国人の方から受けます。代わりに医療機関に電話をすると、断られたり、通訳を連れて来るようにと言われることがあります。もっと外国人の方が住みやすい宮崎にするためにはどうしたら良いのか日々悩んでいる時に、先生のお話を外務省のフォーラムで聞きました。当協会では、在住外国人の方とお話しをする際や、広報の際に「やさしい日本語」を使用しております。今後も、宮崎市でも「やさしい日本語」が定着するように活動してまいります。

ハーン